2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＳＦＲＳ(Ｉ)及びＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名	ＹＣＰホールディングス（グローバル）リミテッド	上場取引所	東
コード番号	9257	URL	https://corporate.ycp.com
代表者	(役職名)取締役兼グループCEO	(氏名)石田　裕樹	
問合せ先責任者	(役職名)IRグループ	(氏名)中村　哲朗	(TEL) 03-6804-3225

配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（注）当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2026年９月30日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき１米ドル＝157.33円で換算された金額であります。

（１）連結経営成績（累計）　（単位：千米ドル（百万円）、％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
2026年12月期第３四半期	98,311 (15,467)	35.8%	6,430 (1,012)	35.0%	6,091 (958)	46.3%	3,888 (612)	74.6%	3,717 (585)	84.8%	3,036 (478)	△32.4%
2025年12月期第３四半期	72,405 (11,391)	13.0%	4,762 (749)	97.0%	4,163 (655)	98.0%	2,227 (350)	△26.5%	2,011 (316)	△27.8%	4,492 (707)	47.6%

（単位：米ドル（円））

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
2026年12月期第３四半期	0.17 (26.17)	0.16 (25.86)
2025年12月期第３四半期	0.09 (14.20)	0.09 (14.10)

（２）連結財政状態　（単位：千米ドル（百万円））

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
2026年12月期第３四半期	148,261 (23,326)	80,909 (12,729)	79,449 (12,500)	53.6%
2025年12月期	163,466 (25,718)	93,864 (14,768)	92,844 (14,607)	56.8%

２．配当の状況

（単位：米ドル（円））

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
2025年12月期	－	0.02 (3.15)	－	0.07 (11.01)	0.09 (14.16)
2026年12月期	－	0.04 (6.06)	－		
2026年12月期(予想)				0.08 (12.59)	0.12 (18.64)

(注１)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注２)括弧内の日本円は便宜上の換算値であり、JDR受益者への円建て分配金の実際の額とは異なります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（単位：千米ドル（百万円）、％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益（米ドル、円）	
通期	129,412 (20,360)	22.4%	8,537 (1,343)	7.5%	8,451 (1,330)	17.0%	5,458 (859)	30.4%	5,458 (859)	36.4%	0.24 (38.42)	36.1%

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①SFRS(I)及びIFRSにより要求される会計方針の変更　：無

②①以外の会計方針の変更　：無

③会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 Q3	22,349,092 株	2025年12月期	22,349,092 株
②期末自己株式数	2026年12月期 Q3	－ 株	2025年12月期	－ 株
③期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 Q3	22,349,092 株	2025年12月期 Q3	22,293,214 株

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「１．当四半期決算に関する定性的情報（４）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）経営成績に関する定性的情報 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 5
（３）キャッシュ・フローの状況 5
（４）連結業績予想に関する定性的情報 6
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 7
（１）要約四半期連結損益及び包括利益計算書 7
（２）要約四半期連結財政状態計算書 9
（３）要約四半期連結持分変動計算書 10
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 11
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 13
（継続企業の前提に関する注記） 13
（セグメント情報） 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第３四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益は98,311千米ドル（15,467百万円）と前年同期に比べ25,906千米ドル（4,076百万円、35.8％）の増収、営業利益は6,430千米ドル（1,012百万円）と前年同期と比べ1,668千米ドル（262百万円、35.0％）の増益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,717千米ドル（585百万円）と前年同期と比べ1,706千米ドル（268百万円、84.8％）の増益となりました。これは主に、中核事業であるマネジメントサービス事業の業績が堅調に推移したことによるものであります。また、四半期包括利益は、急激な為替変動により税引後その他の四半期包括損失852千米ドル（134百万円）を計上したものの、3,036千米ドル（478百万円）の利益となりました。

当第３四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下の通りです。

（マネジメントサービス事業）

マネジメントサービス事業は、当社グループの中核事業として、M&AやDX導入などの企業変革実現に向けた現場常駐型(PMO型)での経営支援サービスを国内外で展開しております。2026年９月30日現在、アジアを中心とする世界23拠点で、プロフェッショナルソリューション事業と合算して約700名のプロフェッショナルが従事しております。

当事業においては、各地域におけるリーダーシップ強化を受けて案件獲得が堅調に推移した結果、日本地域で5,307千米ドル（835百万円、51.0％）、東南アジア地域で2,296千米ドル（361百万円、29.4％）、グレーターチャイナ地域で601千米ドル（95百万円、15.9％）、インド地域で739千米ドル（116百万円、8.6％）、北米地域で401千米ドル（63百万円、45.7％）の増収となりました。その結果、当第３四半期連結累計期間のセグメント売上収益は38,739千米ドル（6,095百万円、前年同期は31,637千米ドル（4,977百万円））（セグメント間収益含む）、セグメント利益は5,802千米ドル（913百万円、前年同期は4,226千米ドル（665百万円））で、増収増益になりました。

マネジメントサービス事業における、当第３四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

（地域別売上収益の内訳）	当第３四半期連結累計期間 （2026年１月１日～2026年９月30日）		前第３四半期連結累計期間 （2025年１月１日～2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	15,705	2,471	10,398	1,636
東南アジア	10,102	1,589	7,806	1,228
グレーターチャイナ	4,373	688	3,772	593
インド	9,363	1,473	8,624	1,357
欧州	1,134	178	1,697	267
北米	1,279	201	878	138
グループ間取引消去	△4,393	△691	△2,334	△367
合計	37,563	5,910	30,841	4,852

（参考：現地通貨の売上推移）	当第３四半期連結累計期間 （2026年１月１日～2026年９月30日）	前第３四半期連結累計期間 （2025年１月１日～2025年９月30日）
日本（百万円）	3,585	2,439
グレーターチャイナ（千人民元）	39,589	33,598
インド（千インドルピー）	901,466	834,130

（注）上記は現地法人ごとの売上収益を現地通貨で表示したものであり、各法人内に複数の事業セグメントが含まれている場合があるため、米ドル建ての地域別売上収益を単純に現地通貨に換算した数値とは一致しません。また、その他の地域については、原則として米ドルで計上しているか、少額のため割愛しております。

（プロフェッショナルソリューション事業）

プロフェッショナルソリューション事業は、マネジメントサービス事業を通じて集積した知見やネットワークを活用し、

特定の領域に特化した専門的なサービスを提供しております。現在は、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタラクティブソリューション、サプライチェーンソリューション、サステナビリティソリューション、オペレーショントランスフォーメーションの５領域でサービスを展開しております。

前第３四半期連結累計期間においては、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタラクティブソリューション、サプライチェーンソリューション、サステナビリティソリューションの４領域において報告を行っておりましたが、2025年10月に、企業の現場に密着しながら業務改善や生産性向上を実現する「オペレーショナル・エクセレンス・コンサルティング(OEC)」に強みを持ち、アジアを中心に欧州及び南北アメリカにおいて、エネルギーや金融、鉱業、インフラストラクチャー等の幅広いセクターで支援実績を有するルノワールグループの完全子会社化を実施したことにより、前第４四半期連結会計期間からは新たにオペレーショントランスフォーメーション領域を加えた全５領域で報告を行っております。

当事業においては、サプライチェーンソリューション領域で収益性改善のため人員及び拠点の整理を実施した影響並びに前第２四半期連結会計期間及び前第３四半期連結会計期間の案件受注が比較的堅調だったことの反動により、648千米ドル（102百万円、16.3%）の減収となったものの、デジタルトランスフォーメーション領域で156千米ドル（25百万円、2.7%）、インタラクティブソリューション領域で620千米ドル（98百万円、29.1%）、サステナビリティソリューション領域で1,423千米ドル（224百万円、67.8%）の増収となったほか、オペレーショントランスフォーメーション領域において新たに20,574千米ドル（3,237百万円）の売上収益を創出しました。その結果、当第３四半期連結累計期間のセグメント売上収益は37,094千米ドル（5,836百万円、前年同期は14,316千米ドル（2,252百万円））（セグメント間収益含む）と増収となりました。一方で、オペレーショントランスフォーメーション領域の収益性改善に関する一時的な費用を計上した影響により、セグメント利益は936千米ドル（147百万円、前年同期は2,706千米ドル（426百万円））で減益となりました。なお、オペレーショントランスフォーメーション領域においては、これまでに実施した収益性改善施策の効果により、当第３四半期連結会計期間において単月の収支が均衡する水準まで改善しており、今後は利益面での貢献を見込んでおります。

（プロフェッショナルソリューション事業における領域別売上収益の内訳）	当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）		前第３四半期連結累計期間（2025年１月１日～2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
デジタルトランスフォーメーション	6,042	951	5,886	926
インタラクティブソリューション	2,749	433	2,129	335
サプライチェーンソリューション	3,316	522	3,964	624
サステナビリティソリューション	3,521	554	2,098	330
オペレーショントランスフォーメーション	20,574	3,237	－	－
グループ間取引消去	△138	△22	△22	△3
合計	36,064	5,674	14,055	2,211

（プリンシパル投資事業）

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小／新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、ペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社LVGを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、2025年７月に東京都大田区で２つの動物病院を運営する会社を取得しており、これらを含む各病院の運営が堅調に推移したことにより、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で167百万円の増収、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で72千米ドル（11百万円）の増収となりました。その結果、当第３四半期連結累計期間のセグメント売上収益は15,179千米ドル（2,388百万円、前年同期は15,107千米ドル（2,377百万円））、セグメント利益は1,466千米ドル（231百万円、前年同期は826千米ドル（130百万円））となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主に国内外における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、シンガポールにおける飲食事業を2025年９月に売却した影響により、前年同期比で3,009千米ドル（473百万円）の減収となった一方で、2026年６月に一部の投資先の株式を売却したことに伴う一時的な利益を計上しております。その結果、当第３四半期連結累計期間のセグメント売上収益は9,631千米ドル（1,515百万円、前年同期は12,640千米ドル（1,989百万円））、セグメント利益は2,175千米ドル（342百万円、前年同期は944千米ドル（149百万円））となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下の通りです。

（グループの売上収益の内訳）	当第３四半期連結累計期間 （2026年１月１日～2026年９月30日）		前第３四半期連結累計期間 （2025年１月１日～2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	38,739	6,095	31,637	4,977
プロフェッショナル ソリューション事業	37,094	5,836	14,316	2,252
プリンシパル投資事業	24,810	3,903	27,747	4,365
（内訳）				
ペットケア領域	15,179	2,388	15,107	2,377
戦略投資領域	9,631	1,515	12,640	1,989
グループ間取引消去	△2,332	△367	△1,295	△204
合計	98,311	15,467	72,405	11,391

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は148,261千米ドル（23,326百万円、前連結会計年度末は163,466千米ドル（25,718百万円））となり、前連結会計年度比15,205千米ドル（2,392百万円）減少となりました。これは主に、現金及び預金が17,948千米ドル（2,824百万円）減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は67,352千米ドル（10,596百万円、前連結会計年度末は69,602千米ドル（10,950百万円））となり、前連結会計年度比2,250千米ドル（354百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が3,447千米ドル（542百万円）減少したことによるものであります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は80,909千米ドル（12,729百万円、前連結会計年度末は93,864千米ドル（14,768百万円））となり、前連結会計年度末比12,955千米ドル（2,038百万円）減少となりました。これは主に、自己JDRの取得費用14,264千米ドル（2,244百万円）を計上したことによるものであります。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より17,948千米ドル（2,824百万円）減少し、18,895千米ドル（2,973百万円）となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,954千米ドル（307百万円、前第３四半期連結累計期間は4,895千米ドル（770百万円）の増加）となりました。これは主に、税引前四半期利益6,091千米ドル（958百万円）を計上した一方で、営業債務以外の債務の減少額3,795千米ドル（597百万円）、法人所得税の支払額2,590千米ドル（407百万円）及び契約資産の増加額2,503千米ドル（394百万円）があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、1,659千米ドル（261百万円、前第３四半期連結累計期間は4,256千米ドル（670百万円）の減少）となりました。これは主に、配当金の受取額1,644千米ドル（259百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、17,574千米ドル（2,765百万円、前第３四半期連結

累計期間は1,503千米ドル（236百万円）の減少）となりました。これは主に、自己JDRの取得による支出14,264千米ドル（2,244百万円）及び配当金の支払額2,270千米ドル（357百万円）によるものであります。

（４）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業及びプロフェッショナルソリューション事業は、引き続き為替変動等の主要なリスクを注視しつつも、2022年11月のAuctus Advisors Private Limited及び2025年10月のルノワールグループ等のM&Aを通じた業容拡大並びにパートナー層を中心として優秀な人材の採用が着実に進展していること、プロフェッショナルソリューション事業においては各領域の事業立ち上げが順調に進捗していること、さらに、両事業の更なる業容拡大に向けて新たなM&Aを積極的に検討していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においては、重点領域であるペットケア領域が位置するマーケットは引き続き堅実な需要が見込まれることから、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。戦略投資領域については、投資先の成長フェーズに合わせて売却等を含むポートフォリオの整理を行いつつ、大きな成長が見込まれる領域については引き続き積極的な投資を続けることで着実に売上拡大を図ってまいります。

なお、当社グループの事業内容に関して、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢、ならびに各国の関税政策及び保護主義的な貿易政策による直接的な影響はグループ全体で軽微であるものの、情勢の変化によって生じうる急激な為替変動リスクについては、引き続き注視してまいります。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結損益及び包括利益計算書

	当第３四半期連結累計期間 （2026年１月１日～ 2026年９月30日）		前第３四半期連結累計期間 （2025年１月１日～ 2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	98,311	15,467	72,405	11,391
売上原価	△41,332	△6,503	△26,137	△4,112
売上総利益	56,979	8,965	46,268	7,279
その他の収益及び利得	1,321	208	823	129
販売費	△546	△86	△559	△88
一般管理費	△50,864	△8,002	△41,712	△6,563
その他の営業費用	△460	△72	△58	△9
営業利益	6,430	1,012	4,762	749
金融収益	85	13	39	6
金融費用	△390	△61	△335	△53
持分法による投資損失	△34	△5	△303	△48
税引前四半期利益	6,091	958	4,163	655
法人所得税費用	△2,203	△347	△1,936	△305
四半期利益	3,888	612	2,227	350
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	3,717	585	2,011	316
非支配持分	171	27	216	34
親会社の所有者に帰属する１株当たり四半期利益				
基本（米セント/円）	16.63	26.17	9.02	14.20
希薄化後（米セント/円）	16.44	25.86	8.96	14.10
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のあるその他の包括利益（△は損失）：				
事業譲渡に係る換算差額	－	－	△224	△35
在外営業活動体の換算差額	△868	△137	2,453	386
持分法のその他の包括利益	14	2	35	6
純損益に振り替えられる可能性のないその他の包括利益（△は損失）：				
在外営業活動体の換算差額	2	0	1	0
税引後その他の包括利益（△は損失）	△852	△134	2,265	356
四半期包括利益合計	3,036	478	4,492	707
四半期包括利益の帰属:				
親会社の所有者	2,870	452	3,898	613
非支配持分	166	26	594	93

	当第３四半期連結会計期間 （2026年７月１日～ 2026年９月30日）		前第３四半期連結会計期間 （2025年７月１日～ 2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	33,908	5,335	24,948	3,925
売上原価	△18,647	△2,934	△8,939	△1,406
売上総利益	15,261	2,401	16,009	2,519
その他の収益及び利得	37	6	511	80
販売費	△188	△30	△158	△25
一般管理費	△12,421	△1,954	△14,421	△2,269
その他の営業費用	△149	△23	△49	△8
営業利益	2,540	400	1,892	297
金融収益	35	6	25	4
金融費用	△141	△22	△119	△19
持分法による投資損失	－	－	△111	△17
税引前四半期利益	2,434	383	1,687	265
法人所得税費用	△701	△110	△821	△129
四半期利益	1,733	273	866	136
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	1,693	266	785	124
非支配持分	40	6	81	13
親会社の所有者に帰属する１株当たり四半期利益				
基本（米セント/円）	7.57	11.91	3.52	5.54
希薄化後（米セント/円）	7.49	11.78	3.50	5.51
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある				
その他の包括利益（△は損失）：				
事業譲渡に係る換算差額	－	－	△224	△35
在外営業活動体の換算差額	△142	△22	△1,901	△299
持分法のその他の包括利益（△は損失）	2	0	△12	△2
純損益に振り替えられる可能性のない				
その他の包括利益（△は損失）：				
在外営業活動体の換算差額	0	0	1	0
税引後その他の包括利益（△は損失）	△140	△22	△2,136	△336
四半期包括利益（△は損失）合計	1,593	251	△1,270	△200
四半期包括利益（△は損失）の帰属:				
親会社の所有者	1,507	237	△1,315	△207
非支配持分	86	14	45	7

（２）要約四半期連結財政状態計算書

	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）		前連結会計年度 （2025年12月31日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	9,164	1,442	10,120	1,592
使用権資産	6,659	1,048	7,086	1,115
のれん	63,522	9,994	64,127	10,089
無形資産	4,044	636	4,801	755
ジョイント・ベンチャーに対する投資	－	－	153	24
関連会社に対する投資	59	9	60	9
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	6,366	1,002	6,400	1,007
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	2,082	328	2,519	396
繰延税金資産	2,196	345	2,241	353
非流動資産合計	94,092	14,803	97,507	15,341
流動資産				
棚卸資産	573	90	600	94
営業債権	20,456	3,218	19,658	3,093
契約資産	6,818	1,073	4,358	686
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	7,427	1,168	4,500	708
現金及び預金	18,895	2,973	36,843	5,797
流動資産合計	54,169	8,522	65,959	10,377
流動負債				
営業債務	3,515	553	3,408	536
営業債務以外の短期債務	30,041	4,726	33,488	5,269
有利子負債	12,140	1,910	4,945	778
リース負債	3,028	476	2,414	380
未払法人所得税	2,389	376	2,884	454
流動負債合計	51,113	8,042	47,139	7,416
正味流動資産	3,056	481	18,820	2,961
正味流動資産及び非流動資産合計	97,148	15,284	116,327	18,302
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	1,489	234	1,668	262
有利子負債	7,873	1,239	13,621	2,143
リース負債	4,020	632	4,901	771
繰延税金負債	2,134	336	2,077	327
退職給付に係る負債	723	114	196	31
非流動負債合計	16,239	2,555	22,463	3,534
純資産	80,909	12,729	93,864	14,768
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	46,731	7,352	46,731	7,352
剰余金	32,718	5,148	46,113	7,255
	79,449	12,500	92,844	14,607
非支配持分	1,460	230	1,020	160
資本合計	80,909	12,729	93,864	14,768

（３）要約四半期連結持分変動計算書

当第３四半期連結累計期間(2026 年１月１日～2026 年９月 30 日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	在外営業活動体の換算差額	利益剰余金	新株予約権	退職給付制度	合計	非支配持分	資本合計
2026 年１月１日残高	46,731	△1,959	△12,740	59,404	1,438	△30	92,844	1,020	93,864
	(7,352)	(△308)	(△2,004)	(9,346)	(226)	(△5)	(14,607)	(160)	(14,768)
四半期利益	－	－	－	3,717	－	－	3,717	171	3,888
	－	－	－	(585)	－	－	(585)	(27)	(612)
その他の包括利益（△は損失）									
在外営業活動体の換算差額	－	－	△863	－	－	2	△861	△5	△866
	－	－	(△136)	－	－	(0)	(△135)	(△1)	(△136)
持分法のその他の包括利益	－	－	14	－	－	－	14	－	14
	－	－	(2)	－	－	－	(2)	－	(2)
四半期包括利益（△は損失）合計	－	－	△849	3,717	－	2	2,870	166	3,036
	－	－	(△134)	(585)	－	(0)	(452)	(26)	(478)
非支配株主からの出資	－	△53	－	－	－	－	△53	274	221
	－	(△8)	－	－	－	－	(△8)	(43)	(35)
支払配当金	－	－	－	△2,425	－	－	△2,425	－	△2,425
	－	－	－	(△382)	－	－	(△382)	－	(△382)
株式報酬費用	－	－	－	－	734	－	734	－	734
	－	－	－	－	(116)	－	(116)	－	(116)
自己 JDR の取得費用	－	△14,264	－	－	－	－	△14,264	－	△14,264
	－	(△2,244)	－	－	－	－	(△2,244)	－	(△2,244)
株式報酬の失効	－	－	－	－	△257	－	△257	－	△257
	－	－	－	－	(△40)	－	(△40)	－	(△40)
2026 年９月 30 日残高	46,731	△16,276	△13,589	60,696	1,915	△28	79,449	1,460	80,909
	(7,352)	(△2,561)	(△2,138)	(9,549)	(301)	(△4)	(12,500)	(230)	(12,729)

前第３四半期連結累計期間(2025 年１月１日～2025 年９月 30 日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	在外営業活動体の換算差額	利益剰余金	新株予約権	退職給付制度	合計	非支配持分	資本合計
2025 年１月１日残高	46,478	△1,955	△11,776	55,806	1,037	△24	89,566	743	90,309
	(7,312)	(△308)	(△1,853)	(8,780)	(163)	(△4)	(14,091)	(117)	(14,208)
四半期利益	－	－	－	2,011	－	－	2,011	216	2,227
	－	－	－	(316)	－	－	(316)	(34)	(350)
その他の包括利益（△は損失）									
在外営業活動体の換算差額	－	－	2,075	－	－	1	2,076	378	2,454
	－	－	(326)	－	－	(0)	(327)	(59)	(386)
事業譲渡に係る換算差額	－	－	△224	－	－	－	△224	－	△224
	－	－	(△35)	－	－	－	(△35)	－	(△35)
持分法のその他の包括利益	－	－	35	－	－	－	35	－	35
	－	－	(6)	－	－	－	(6)	－	(6)
四半期包括利益（△は損失）合計	－	－	1,886	2,011	－	1	3,898	594	4,492
	－	－	(297)	(316)	－	(0)	(613)	(93)	(707)
支払配当金	－	－	－	△446	－	－	△446	－	△446
	－	－	－	(△70)	－	－	(△70)	－	(△70)
株式報酬費用	－	－	－	－	529	－	529	－	529
	－	－	－	－	(83)	－	(83)	－	(83)
譲渡制限付株式ユニットの権利確定に伴う新株の発行	15	－	－	－	△15	－	－	－	－
	(2)	－	－	－	(△2)	－	－	－	－
2025 年９月 30 日残高	46,493	△1,955	△9,890	57,371	1,551	△23	93,547	1,337	94,884
	(7,315)	(△308)	(△1,556)	(9,026)	(244)	(△4)	(14,718)	(210)	(14,928)

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第３四半期連結累計期間 （2026年１月１日～ 2026年９月30日）		前第３四半期連結累計期間 （2025年１月１日～ 2025年９月30日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	6,091	958	4,163	655
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△85	△13	△39	△6
子会社の段階的取得に係るアーンアウト対価の調整による損失	297	47	120	19
子会社及び事業の売却益	－	－	△182	△29
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損益（△は利益）	47	7	△38	△6
減価償却費（有形固定資産）	1,138	179	1,250	197
減価償却費（使用権資産）	2,580	406	2,476	390
その他の償却費（無形資産）	641	101	602	95
有形固定資産除却損	－	－	100	16
有形固定資産売却損益（△は利益）	△18	△3	16	3
リース解約益	△1	△0	△6	△1
貸倒引当金の増加額（△は戻入）	40	6	△10	△2
受取配当金	△1,644	△259	－	－
金融費用	390	61	335	53
持分法による投資損失	34	5	303	48
株式報酬費用	734	115	529	83
運転資本の変動前の営業キャッシュ・インフロー	10,244	1,612	9,619	1,513
運転資本の変動：				
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権の増加額	△2,484	△391	△1,823	△287
契約資産の増加額	△2,503	△394	△906	△143
棚卸資産の減少額	64	10	155	24
営業債権の増加額	△961	△151	△20	△3
営業債務の増減額（△は減少）	71	11	△635	△100
営業債務以外の債務の減少額	△3,795	△597	△664	△104
小計	636	100	5,726	901
法人所得税の支払額	△2,590	△407	△831	△131
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,954	△307	4,895	770
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	85	13	39	6
配当金の受取額	1,644	259	－	－
有形固定資産の取得による支出	△250	△39	△3,373	△531
有形固定資産の売却による収入	1	0	1	0
子会社及び事業の取得による収入（△は支出）	59	9	△831	△131
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による収入	120	19	160	25
関連会社への投資による支出	－	－	△259	△41
子会社の売却による収入	－	－	12	2
担保に提供されている定期預金の預入による支出	－	－	△5	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,659	261	△4,256	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー				
自己 JDR の取得による支出	△14,264	△2,244	－	－
借入による収入	4,767	750	6,472	1,018
借入金の返済による支出	△3,213	△506	△4,713	△741
リース負債の返済による支出	△2,425	△382	△2,481	△390
利息の支払額（リース負債）	△136	△21	△125	△20
配当金の支払額	△2,270	△357	△446	△70
利息の支払額	△254	△40	△210	△33
非支配株主による出資	221	35	－	－

財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,574	△2,765	△1,503	△236
現金及び現金同等物の減少額	△17,869	△2,811	△864	△136
現金及び現金同等物の期首残高	36,843	5,797	43,281	6,809
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△79	△12	2,031	320
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,895	2,973	44,448	6,993
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	18,895	2,973	44,448	6,993

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供する「マネジメントサービス」、サプライチェーンやサステナビリティなど専門的な知見が求められる特定の領域に特化したソリューションを提供する「プロフェッショナルソリューション事業」及び中小・新興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の３事業を展開しております。また、「プリンシパル投資」においては、「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「プロフェッショナルソリューション事業」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の４つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

なお、プロフェッショナルソリューション事業については、前第３四半期連結会計期間はサプライチェーンソリューション領域、デジタルトランスフォーメーション領域、インタラクティブソリューション領域及びサステナビリティソリューション領域の４領域において報告を行っておりましたが、その後、2025年10月にルノワール社を完全子会社化したことにより、前第４四半期連結会計期間からはオペレーショントランスフォーメーション領域を加えた全５領域で報告を行っております。

２．報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間(2026 年１月１日～2026 年９月 30 日)

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント				合計
	マネジメントサービス	プロフェッショナルソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	37,563 (5,910)	36,064 (5,674)	15,179 (2,388)	9,505 (1,495)	98,311 (15,467)
セグメント間収益	1,176 (185)	1,030 (162)	－ －	126 (20)	2,332 (367)
計	38,739 (6,095)	37,094 (5,836)	15,179 (2,388)	9,631 (1,515)	100,643 (15,834)
セグメント間収益の相殺					△2,332 (△367)
収益合計					98,311 (15,467)
非資金取引前セグメント損益	8,322 (1,309)	1,698 (267)	2,500 (393)	3,317 (522)	15,837 (2,492)
非資金取引					
貸倒引当金戻入額（△は繰入）	△38 (△6)	△5 (△1)	3 (0)	－ －	△40 (△6)
子会社の段階的取得に係るアーンアウト対価の調整による損失	△297 (△47)	－ －	－ －	－ －	△297 (△47)
有形固定資産売却損益（△は損失）	△9 (△1)	27 (4)	－ －	－ －	18 (3)
減価償却費	△1,263 (△199)	△512 (△81)	△913 (△144)	△1,030 (△162)	△3,718 (△585)
その他の償却費	△337 (△53)	△115 (△18)	△124 (△20)	△65 (△10)	△641 (△101)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損益（△は損失）	－ －	－ －	－ －	△47 (△7)	△47 (△7)
リース解約益	1 (0)	－ －	－ －	－ －	1 (0)
株式報酬費用	△577 (△91)	△157 (△25)	－ －	－ －	△734 (△115)
セグメント損益	5,802 (913)	936 (147)	1,466 (231)	2,175 (342)	10,379 (1,633)
配賦不能本社費					△3,949 (△621)
営業利益					6,430 (1,012)
金融収益					85 (13)
金融費用					△390 (△61)
持分法による投資損失					△34 (△5)
税引前四半期利益					6,091 (958)

前第３四半期連結累計期間(2025年１月１日～2025年９月30日)

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント				合計
	マネジメントサービス	プロフェッショナルソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	30,841 (4,852)	14,055 (2,211)	15,107 (2,377)	12,402 (1,951)	72,405 (11,391)
セグメント間収益	796 (125)	261 (41)	－ －	238 (37)	1,295 (204)
計	31,637 (4,977)	14,316 (2,252)	15,107 (2,377)	12,640 (1,989)	73,700 (11,595)
セグメント間収益の相殺					△1,295 (△204)
収益合計					72,405 (11,391)
非資金取引前セグメント損益	6,002 (944)	3,232 (508)	2,122 (334)	2,203 (347)	13,559 (2,133)
非資金取引 貸倒引当金戻入額（△は繰入）	16 (3)	－ －	△6 (△1)	－ －	10 (2)
子会社の段階的取得に係るアーンアウト対価の調整による損失	△120 (△19)	－ －	－ －	－ －	△120 (△19)
有形固定資産除却損	△4 (△1)	－ －	－ －	△96 (△15)	△100 (△16)
有形固定資産売却損	△16 (△3)	－ －	－ －	－ －	△16 (△3)
減価償却費	△903 (△142)	△365 (△57)	△1,153 (△181)	△1,305 (△205)	△3,726 (△586)
その他の償却費	△353 (△56)	△34 (△5)	△137 (△22)	△78 (△12)	△602 (△95)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による利得	－ －	－ －	－ －	38 (6)	38 (6)
リース解約益	6 (1)	－ －	－ －	－ －	6 (1)
子会社及び事業の売却益	－ －	－ －	－ －	182 (29)	182 (29)
株式報酬費用	△402 (△63)	△127 (△20)	－ －	－ －	△529 (△83)
セグメント損益	4,226 (665)	2,706 (426)	826 (130)	944 (149)	8,702 (1,369)
配賦不能本社費					△3,940 (△620)
営業利益					4,762 (749)
金融収益					39 (6)
金融費用					△335 (△53)
持分法による投資損失					△303 (△48)
税引前四半期利益					4,163 (655)